

平成23年度経営協議会における学外委員からの主な意見とその対応状況

学外委員からの主な意見	対応状況
<p>年度計画において実施済の事項について、積極的な評価を検討してはどうか。</p>	<p>評価内容において既に実施済の計画等について精査し、見直しを行った結果、計画を上回っていると判断されるものについてⅢからⅣへ修正した。</p>
<p>平成24年度概算要求事項について、前年度の中期計画が良い評価を得ているので、要求に力を入れてはどうか。</p>	<p>平成24年度概算要求事項は、特別経費について新規に6件申請した結果、「大学の特性を生かした多様な学術研究機能の充実」で1件、「大学院博士前期課程改組に伴う教育設備等整備事業」で1件、計2件新規事業として採択された。</p>
<p>北見市教育委員会との連携協力に関する協定の締結について、大学の教員が小学生相手に説明することは難しい部分もあると思うが、小・中学生への指導方法など、教員に対しての研修等はあるか。</p>	<p>平成24年2月に本学技術員を小学校に講師として派遣し、手回し発電機など新学習指導要領に対応した実験技術向上のための研修等を行った。</p>
<p>代替エネルギーとしてメタンハイドレートが脚光を浴びているが、予算要求など今後の展開を教えて欲しい。</p>	<p>明治大学、東京大学との共同調査グループで、メタンハイドレートが日本海からオホーツク海にわたる広域の海底で見つかったことを発表した。 今後、関連する学術研究を推進する予定。</p>
<p>中期目標・中期計画に基づくだけでなく、国の方針の変化にも、臨機応変に対応できる形をとるべきではないか。</p>	<p>機動的で効率よく機能するよう研究組織の再構築を行い、研究推進機構を発足し、臨機応変にプロジェクト研究を進めることのできる体制を構築した。</p>